

## 第4回東京イミグレーション・フォーラム 鈴木法務大臣開会御挨拶

- 皆様、法務大臣の鈴木馨祐です。  
「第4回東京イミグレーション・フォーラム」の開催に当たり、法務省を代表して御挨拶申し上げます。
- 各国・地域からお越しいただいた、入管当局の代表の皆様、さらには国際機関の皆様を、ここ東京にてお迎えすることができて大変嬉しく思います。
- 現在、国際社会は非常に厳しい状況にあります。世界各地で深刻化する紛争や貧困、災害等の人道危機により故郷を追われた人の数は年々増加し、今年半ばには、1億2千万人を超えたと言われております。
- こうした課題は、各国が個々に対処するのみで解決できるものではなく、世界が一丸となって取り組まなければならないものです。
- 入管当局には、適切な国境管理が求められているだけでなく、国際社会の一員としても責任ある行動が求められています。

- 本フォーラムは、こうした問題意識の下で、各国・地域の入管当局及び国際機関が相互に交流を深めつつ、連携・協力を強化し、ベストプラクティスや直面する課題に係る情報を交換することにより、各国の入管施策等の向上を図ることを目的としています。
  
- 本フォーラムにおける議論を通じ、各国・地域の入管当局間の連携や協力が深まることは、国際社会に対しても大きな貢献になると考えます。
  
- どうぞ、皆様のアイデアや知見を積極的に発信して、議論に参加してください。第4回となる本フォーラムが、各国・地域における課題解決に向けた積極的な一歩を踏み出す機会となることを大いに期待し、私の挨拶といたします。